

* スモモヒメシクイの発生園は、4月下旬にナシヒメコン(10a 当り100本)を設置する。尚、太陽(含む)以降の品種では7月上旬に再度設置する。

散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100ℓ当り)		収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
/	3月中旬 (発芽前)	①(水98ℓ) スプレーオイル トレノックスフロアブル	2ℓ 200mℓ	発芽前 14日前	- 3回	300	ふくろみ病 カイガラムシ類	①【ふくろみ病 対策】トレノックスFに代えて、ホーマイコート 100 倍(休眠期、1回)を使用する。 ②【カイガラムシ類対策】アブロードフロアブル 1,000 倍(14 日前、2 回)を加用する。
/	開花始め (1~2輪咲き)	② ICポルドー412	3.3kg	-	-	350	黒斑病 かいよう病	① 黒斑病発生園は、展着剤にアビオンーEの 1,000 倍を使用する。
/	落花後	③展着剤(ハイテンパワー) スコア顆粒水和剤 アグレプト水和剤	10mℓ 33g 100g	前日 30日前	2回 2回	400	灰星病 黒斑病、かいよう病	①【アブラムシ類対策】 ウララDFの 2,000 倍(7 日前、2 回)を加用する。
/	5月上旬 (前回より10日後)	④展着剤(ハイテンパワー) ウララ DF マイコシールド	10mℓ 50g 50g	7日前 21日前	2回 3回	400	黒斑病(かいよう病) アブラムシ類	①【ケムシ類対策】サムコルフロアブル 10の 2,500 倍(3 日前、3 回)を加用する。 ② 5月末までの農薬散布は、葉・果実とも軟弱であり、(時間帯・薬液量等)十分注意する。
/	5月中旬 (前回より10日後)	⑤展着剤(ハイテンパワー) モスピラン顆粒水溶剤 イカズチ WDG アグレプト水和剤	10mℓ 25g 66g 100g	前日 前日 30日前	3回 2回 2回	400	黒斑病、かいよう病 シンクイムシ類 アブラムシ類	①アグレプト水和剤、アグリマイシン-100 はぶどうに掛かると種無し果を生じるので隣接園に掛からないようにする。 ②【カイガラムシ対策】 アブロードフロアブル 1,000 倍(14 日前、2 回)を加用する。
/	5月下旬 (前回より10日後)	⑥展着剤(ハイテンパワー) バイスロイドEW マイコシールド	10mℓ 33mℓ 50g	14日前 21日前	2回 3回	500	黒斑病(かいよう病) アブラムシ類 (シンクイムシ類)	①摘果果実は、腐敗病、シンクイムシ類の伝染源になりやすいため、園外へ除去する。 葉・果実とも軟弱であり、散布の時間帯・薬液量等十分に注意する
/	6月上旬 (前回より10日後)	⑦展着剤(ハイテンパワー) ダズバン DF マイコシールド	10mℓ 33g 50g	14日前 21日前	2回 3回	500	黒斑病(かいよう病) シンクイムシ類 ウメシロカイガラムシ類	①【シンクイムシ類対策】 アーデントフロアブル 2,000 倍(前日、3 回)を加用する。 ②大石早生は、マイコシールドを除いてよい。(収穫前使用規制厳守)
/	6月中旬 (前回より10日後)	⑧展着剤(ハイテンパワー) ベルコートフロアブル エクシレルSE	10mℓ 50mℓ 40mℓ	3日前 前日	3回 3回	500	灰星病 シンクイムシ類 ケムシ類	①【黒斑病(かいよう病)対策】 バリダシン液剤5の 500 倍(3 日前、4 回)又はスターナ水和剤 1,000 倍(7 日前、3 回)を加用する。
/	6月下旬 (前回より10日後)	⑨展着剤(ハイテンパワー) オンリーワンフロアブル バリアード顆粒水和剤	10mℓ 50mℓ 50g	前日 前日	3回 2回	500	灰星病 アブラムシ類 シンクイムシ類	
/	7月上旬 (前回より10日後)	⑩展着剤(まくぴか) バイスロイドEW ベルコートフロアブル	20mℓ 33mℓ 50mℓ	14日前 3日前	2回 3回	500	灰星病 アブラムシ類 (シンクイムシ類)	①今回以降の展着剤は、機能性展着剤まくぴかの 5,000 倍を使用する。 (湿展性改善、果粉溶脱、果実汚染防止、など) ②紅りょうぜん等の収穫時期が近い品種は、バイスロイドEWに代えてアルバリン顆粒水溶剤の 2000 倍(前日、3 回)を使用する。
/	7月中旬 (前回より10日後)	⑪展着剤(まくぴか) ヨーバルフロアブル	20mℓ 20mℓ	前日	2回	500	シンクイムシ類 ケムシ類	①【黒斑病(かいよう病)対策】 バリダシン液剤5の 500 倍(3 日前、4 回)又はスターナ水和剤 1,000 倍(7 日前、3 回)を加用する。
/	7月下旬 (前回より10日後)	⑫展着剤(まくぴか) フリントフロアブル 25 バリアード顆粒水和剤	20mℓ 50mℓ 50g	前日 前日	2回 2回	500	灰星病(すす点病) アブラムシ類 (シンクイムシ類)	①【黒斑病(かいよう病)対策】 バリダシン液剤 5 の 500 倍(3 日前、4 回)を加用する。
/	8月上旬 (前回より10日後)	⑬展着剤(まくぴか) イカズチWDG	20mℓ 66g	前日	2回	500	シンクイムシ類	
/	8月中旬 (前回より10日後)	⑭展着剤(まくぴか) パレード 15 フロアブル アーデントフロアブル	20mℓ 50mℓ 50mℓ	前日 前日	2回 3回	500	灰星病(すす点病) ハダニ類 シンクイムシ類 (ケムシ類)	
/	8月下旬 (前回より10日後)	⑮展着剤(まくぴか) オンリーワンフロアブル エクシレルSE	20mℓ 50mℓ 40mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病 シンクイムシ類 ケムシ類	①【シンクイムシ類対策】 モスピラン顆粒水溶剤 2,000 倍(前日、3 回)を加用する。

* 晩生種 特別散布 : 9月上旬 ・パレード 15 フロアブルの 2000 倍(前日、2 回)とアーデントフロアブル 2,000 倍(前日、3 回)を散布する。

/	収穫終了後 2~3回の 防除	⑯・⑰ ICポルドー412	3.3kg	-	-	400	黒斑病 かいよう病	①【黒斑病(かいよう病)対策】 展着剤アビオンーEの 1,000 倍を使用する。 ②【落葉後~萌芽前までの防除】 コスカシバの防除はトラサイドA乳剤200倍を(収穫後~発芽前、2 回)を樹幹部及び主枝に散布する。
/	【特別散布】 落葉後 (11月下旬以降)	(水88ℓ) スプレーオイル 石灰硫黄合剤	2ℓ 10ℓ	発芽前 発芽前	- -	300	(ふくろみ病) カイガラムシ類	①この散布は、次年度発芽前の防除が積雪の影響で遅れる園地で実施する。

◆混用例 : 展着剤 ⇒ 液剤 ⇒ 乳剤 ⇒ 顆粒水溶剤 ⇒ 水溶剤 ⇒ フロアブル ⇒ ドライフロアブル(DF) ⇒ 顆粒水和剤(WDG) ⇒ 水和剤

* 当防除暦の複製・コピーを禁止します。